独立行政法人国立病院機構 甲府病院連携ニュース

てんじん

第117号
令和6年4月発行

目　次

看護部だより …… 1
能登半島地震における
介護職員等派遣報告 …… 2～3
能登半島地震の看護師派遣に参加して …… 4
外来医師担当表 …… 5

発　　行：独立行政法人 国立病院機構 甲府病院 広報委員会
発行責任者：萩野 哲男
住　　所：〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35
電　　話：055-253-6131
ファックス：055-251-5597
ホームページ：https://kofu.hosp.go.jp/
Eメール：227-nhokofu@mail.hosp.go.jp

新採用者一同

独立行政法人国立病院機構 甲府病院の理念

National Hospital Organization Kofu National Hospital

理　念　私たちは、良質な医療の提供を通じて、患者さんの健康を支え、地域社会に貢献します

基本方針　●丁寧な説明に努めます　●自己研鑽に励みます　●職員同士協力し合います

私たち職員は、理念を実現するため最善を尽くします
病院は、職員の働きやすい環境を積極的に提供します

看護部だより

教育担当看護師長　山口 絢子

令和６年４月１日、看護部に８名の新人看護師を迎えました。

緊張した面持ちで病院長より辞令を受け、甲府病院の職員としての日々が始まりました。就職後の１週間は甲府病院・看護部の一員として働くための心の準備をしました。

患者さんの安全や自分の安全を守る方法を習得すべく、医療安全や感染管理の基本、急変時の対応について学びました。

＊感染管理研修の一環として手指衛生と個人防護具の着脱について練習しました。

コロナ禍で看護学生生活を過ごし、病院実習の不足を補うため、今年も病棟や手術室でのローテーション研修を行います。看護基礎教育で直接患者さんと接する機会が少なく、不安を抱えている新人看護師に寄り添い、先輩看護師の指導のもと、基本的な看護技術の習得を目指していきます。

＊急変時の対応研修では救急蘇生・AED について学びました。

看護師として第一歩を踏み出した８名が、１年後、２年後、３年後と自身の目標に向かい歩んでいけるように、そして患者さんへより良い看護提供ができるように先輩看護師と共に日々支援していきます。

能登半島地震における介護職員等派遣報告

療育指導室　岩﨑真由美

施設の敷地内の亀裂

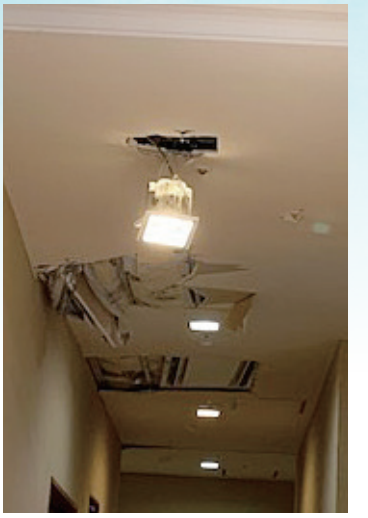
1月28日から2月2日までの間、能登町の障害者入所施設に災害派遣として活動して参りました。施設に向かう道路や敷地内の地面は亀裂が入り、崩落している箇所が何か所もありました。施設内の様子はところどころ天井が崩落しており、ブルーシートで覆われていました。施設から徒歩で10分ほどの沿岸部集落は津波と火災で壊滅状態となっており、被災状況を目の当たりにして、恐怖に身がすくむ思いでした。

施設内の生活は1月28日から生活用水が通り、トイレや洗濯機の使用が再開されましたが、飲料水には使用できないため、食事は非常食を中心とした提供が続いていました。そのような状況下でも、調理スタッフの方が温かいスープやレトルト食品に野菜や魚介を足すなどして、工夫を凝らして利用者の皆様の食生活を支えていました。2月1日からボイラーが復帰し、お風呂に入れるようになりました。

震災から1か月たち、休職していた職員の方々も復帰し始め、少しずつ復興の兆しが見えました。しかし、利用者の皆様の日中活動再開や厨房復帰のめどは立たず、職員も避難所生活や断水が続く中、生活されている人がほとんどで、日常が戻るまではもうしばらく時間がかかりそうでした。

ブルーシートに覆われた施設内の様子

利用者の皆様は日中活動サービスが止まっているため、多くの時間を施設内で過ごし、時間を持て余している様子も見られました。災害派遣で訪れるスタッフとの関わりにストレスを感じないかと不安ではありましたが、それぞれのペースで交流の幅が広がったことを楽しんでいるようでした。私は自家用車で施設を訪問したので、山梨ナンバーの車に興味津々の方もおり、新しい出会いが利用者の皆さんの活力になっていることをうれしく思いました。


1カ月たってから崩壊した天井

利用者の皆様の日常は震災の影響を感じさせないほど、明るく朗らかに過ごされていました。職員の皆様は、被災した状況下でも利用者の皆様のやりたいことに寄り添い、実現できるように工夫を凝らして日々の生活に向き合っていました。

今回の災害派遣を通して、利用者の皆様の思いに寄り添い、個々を尊重して関わる福祉の原点を改めて、実感することができ、とても貴重な体験となりました。

被災地の皆様の一日も早い復興を祈願しております。

施設から徒歩10分の沿岸部

令和5年度一日平均患者数

（小数点以下第2位は四捨五入）

※3月分及び年間累計は4月1日現在

入院

種別＼月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
一般	93.3	92.1	107.7	95.1	99.6	83.2	95.5	98.6	100.2	94.9	101.1	91.3	96.0
重心	121.8	121.5	122.8	123.7	121.8	120.7	121.1	120.5	120.9	120.0	121.8	123.3	121.7
計	215.1	213.6	230.5	218.8	221.4	203.9	216.6	219.1	221.1	214.9	222.9	214.6	217.7

※3月分及び年間累計は4月1日現在

外来

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	265.7	263.4	264.0	282.7	256.6	260.5	261.7	259.6	270.9	277.9	259.4	258.0	266.1

能登半島地震の看護師派遣に参加して

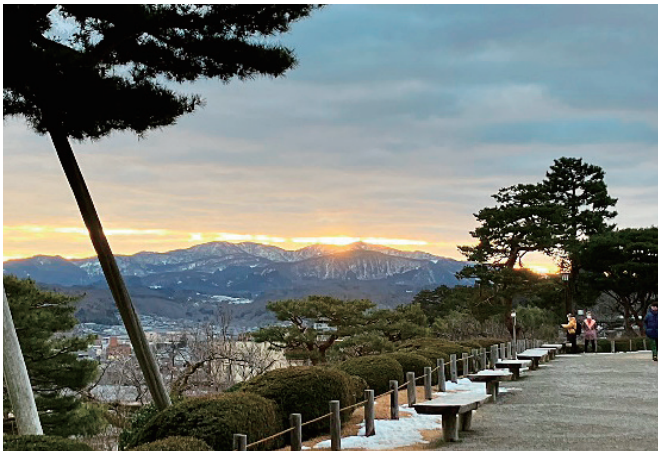
手術室　看護師　守山明里沙

能登半島地震が発生した時は山梨の自宅に居ました。部屋に緊急地震速報の音が響いた後、少し恐怖を感じるほどの揺れが来たのを覚えています。連日のニュースから、震源地では火災や津波、地盤変化などの大規模な被害が出ていると知り、何か力になりたいと考えていました。地震発生日から数日後、国立病院機構から被災地支援の話があり、少しでも役に立ちたいと希望しました。

派遣先の金沢医療センターでは、被災した能登地方からの患者さんを受け入れており、各県から派遣された看護師と一緒に仕事をしました。

患者さんは家や財産が流され、家族と離れ離れになり連絡が困難であったり、治療が終了していても避難所が 200 人待ちでなかなか退院ができなかったりと社会的問題を抱えていました。また、患者さんと話す中で、余震の恐怖や知らない人と慣れない土地で生活することへの不安を知りました。退院後の不安は特に大きく、地震の影響でうつ病を発症した方もいたりと精神的なケアも重要でした。病棟では毎週退院カンファレンスを実施しており、退院先は食事付きで経済的な支援が可能な施設もあることを知り、ケアマネジャーとの連携を学ぶことができました。

私は 2 週間の間金沢へ派遣されましたが、派遣期間終了後も、患者さんは元通りの生活に帰ることができないと思うと、とても心苦しくなります。少しの間でしたが力になることができたと信じ、少しでも早い復興を願っています。



国立病院機構甲府病院　外来医師担当表

2024年4月1日現在

				月	火	水	木	金
一階	消化器内科	消化器内科診察室		奥脇　徹也 (受付は10:30まで)	白勢　大門 (受付は10:30まで)	鈴木 雄一朗 (受付は10:30まで)		
	消化器外科	消化器内科診察室					土屋 雅人 (外科)	
		診察室1		鈴木　哲也	鈴木　哲也	鈴木　哲也	鈴木　哲也	
		診察室2		浅川　真巳	浅川　真巳	浅川　真巳	浅川　真巳	土屋　雅人
		診察室3				白石　謙介		
		(5階)化学療法	診察室1		○	○		
			診察室2		○	○		
	内　科	診察室3		渡邊　美教	武田　怜		中尾　篤人	
		診察室4		黒澤　理恵	黒澤　理恵	黒澤　理恵		黒澤　理恵
		診察室5			古屋　直子	古屋　直子		大学医師
	循環器内科	診察室6		薬袋　路子		中村　貴光 (受付は10:30まで)		黒木　健志
	呼吸器内科	診察室3				本間　健太 (午後)		副島　研造 (午後)
	神経内科	診察室7				太田恵美子		太田恵美子
	脳神経外科	診察室8		長沼　博文	長沼　博文		長沼　博文	長沼　博文
		診察室9(共用)						大学医師
	皮　膚　科	消化器内科診察室						川村　龍吉 (受付は10:30まで)
	整形外科(スポーツ・膝疾患治療センター)	整形1	午前	萩野　哲男	古屋　直人	古屋　直人	萩野　哲男	齋藤　正憲
			午後	第1週　小児外来 若生　政憲				足の外来 藤巻　太郎
		整形2	午前	千賀　進也		千賀　進也	白須　敬士	千賀　進也
			午後				脊椎外来 勝　麻里那	
		整形3	午前	白須　敬士	落合　聡司	落合　聡司	落合　聡司	天野　滉大
		整形4	午前		山下　隆	齋藤　正憲		山下　隆
		整形5	午前	装具外来		装具外来	萩野　哲広	装具外来
		診察室9(共用)	午前	萩野　哲広	天野　滉大		古屋　直人	
		診察室10(共用)	午前	山下　隆		天野　滉大		
二階	検査室	内視鏡	午前(上部)			村松　篤		
			午後(下部)					若尾　聡士
	小児科	1		内田　則彦	望月　美恵	沢登　恵美	沢登 恵美 望月 美恵(第3木)	望月 美恵 沢登 恵美(第3金)
		フォローアップ			久富　幹則		(午後) 予防接種	
		専門外来 午後　完全予約制	1	神　経　(中村　幸介・石井　佐綾香・田丸 径)				
			2	腎　尿　路　(沢登　恵美・中澤 瑞葉)				
			3	内分泌・糖尿病　(望月 美恵)				
			4	肥　満・栄　養　(内田　則彦・澁澤 裕史)				
			5	小児循環器　(大学医師)　第1木曜日・第3月曜日、第4水曜日				
			6	小　児　摂　食　(小野 智佳子)　第1・3木曜日				
	産婦人科	1	午前	滝澤　基	雨宮　厚仁	平井　聡美	雨宮　厚仁	滝澤　基
			午後(予約のみ)	出生前遺伝 カウンセリング外来				
		2(予約のみ)		雨宮　厚仁	滝澤　基	滝澤　基/雨宮厚仁	滝澤　基	雨宮　厚仁
	眼　科			古屋　敏江 (予約のみ)	古屋　敏江	古屋　敏江		古屋　敏江
	泌尿器科(予約のみ)			滝花　義男(奇数週)				
	耳鼻咽喉科						矢崎　裕久	

●受付時間　初診／午前8時30分～午前11時00分　再診／午前8時20分～午前11時00分（再診で予約を取られている方は予約時間まで）
（※水曜日午後呼吸器内科の受付時間は13：00～15：00です（診察13：00～16:00））
●各科診療の予約状況により、初診及び予約外再診の方の外来診療をお受けできない場合があります。泌尿器科の初診の受付はありません。

※右記のものについては事前の予約が必要となります。
●小児科　専門外来
●乳児健診　毎週火・金曜日
●毎月第4金曜日午後　外来糖尿病教室
●予防接種（小児科）毎週木曜日
●出生前遺伝カウンセリング外来

助産師・看護師による専門外来のご案内

●母乳外来（月～金曜日）　●フットケア（開催曜日はお問い合わせください）　●育児相談（月～金曜日）（※事前の電話予約をお願いいたします）

特殊外来ご案内

●「物忘れ外来」については、脳神経外科（月・火・木・金曜日）で行っています。（物忘れ外来の初回受診時は、紹介状が必要です。紹介状がない場合は、外来診療をお受けできない場合があります）ご家族が「忘れることが多い」と気づいたら、受診されることをお勧めします。

作品募集

「てんじん」に掲載する写真等の作品を募集しています。
■宛先　国立病院機構甲府病院　経営企画室　金子
e-mail:kaneko.yoji.va@mail.hosp.go.jp

2024年度職員採用試験案内

看護師・助産師・看護助手の採用試験（パート）は随時行っています。

申し込み方法	※下記の電話番号に（平日8：30～17：15）直接ご連絡下さい。
連絡先	国立病院機構甲府病院　庶務係長 TEL：055-253-6131　FAX：055-251-5597

編集後記

最近は岩盤浴に行くとロウリュウもやるようにしています。熱波でものすごく熱くなり発汗が促されてとても気持ちがいいです。感覚としては体内の不要物が汗とともに流れていくような爽快感を感じます。これにより心も体もしっかりリフレッシュします。（編集委員　K・K）